チェンマイ五行歌の会 ニュースレター

2008. 3月

VOL.3 今津 編

三月は、先に案内しました通り、定例歌会はお休みにしました。しかし、折角始めたチェンマイ五行歌会がたとえ一月でも欠落してしまうのが何とも口惜しい気がしましたので、インターネットをなさる方に案内させていただき、ネット歌会なるものを試行してみました。

その結果は、吉見さん、ピンポンさん、高田さん、今津それから本部のえんた主宰と井椎しづくさん（昨年八月の講演会に参加された）の合計六作品が集まりました。

三月二十七日が作品応募の締め切りで、直ちに作品集を投票（作品3以下。総合点6点以下）して下さった方にメールでお送りし、三月二十九日に応募して頂きました。同時に自作の創作動機も書いて頂きました。

この方法は、顔を合わせることがなく、参加している実感が薄いのが欠点ですが、出席が見込めない場合の代行としては意義があるかも知れません。

なお、井椎さんがご提案下さった（後述）のですが、無料のSKYPE（スカイプ）を利用したテレビ会議の形式で行えば顔も見え、在宅のままでも参加できますので、チェンマイ歌会のように、体調不備や日本への帰省などで集会には参加できない方が多い場合でも、参加して頂ける可能性がありますし、世界中の五行歌の作者が、テレビ会議に参加して同時に行うのも楽しいかも知れません。この

シスステムを、しばらく研究して見たいと思っています。

なお、四月度は予定通り、四月二十四日（木）の午後一時三十分からいつもの看護師養成学校で行いますので、是非ともご参加下さい。また、作品は、北川さん宛てに、郵送又は電子メールで十五日までにお送り下さい。

一
私が神なら
なんとする
何もしないで
朝まで
寝てる

二
獲物を目の前にした
ケモノの目だ
中国貧村に学ぶ
こどもらの
先生を射抜く視線

三
幼木にはまだ枝も葉もないが
唐突に黒紅の花が咲き
密かに散る
果実は実らず
仏の国のエイズ

四
誇張された　押し付けの
親切より
人知れず　ささやかな
優しさこそ
真実　心に　残る

五
酔っ払いの車が猛スピード
ゴオー・キイー・ウワー
地獄の静けさ　誰かが死んだ
二つの目と四本の足がゆっくり進む
めくらの母と幼子は無関心

六
おおい雲よ
ゆったりと
呑気そうでないか
どこまでゆくんだ
日本までゆくんかね

（番外）
すばらしい
この彩豊かな庭
この朝咲き競う花々は
この世界を美しく変えるため
みな忙しい

1. If I were a God
How should I do?
May be sleeping
Till the morning
Do not do someting

2. It is alike the eye of the beast
just before attacking their prey
as the school children's eye
look at their teacher
a small village, in China

3. Suddenly a dark red color flower blooms
On a young tree not yet with reef nor branch
And fall down in die
Without making fruit
The AIDS in a country of Buddha

（No number）
So wonderful !
Colorful garden .
This morning time to slow .
Flowers so busy !
They are make this world bertiful .

4. To get kindness
intrusively and exaggeratedly
It do not remain my mind
But goodwill which was done secretly and modest
It sure will grip my heart.

5. Two eyes and Four Legs walking slowly
Drunkrd drive car running so fastest
Boom..Bump..oh..Godamge !!
Silence up in the hell and some one die !! but
Blind mother and her child are " MAI PHEN RAI "

6. Hey cloud!
You looks like easy
and relaxed
Where are you flowing to?
Traveling to Japan finally?

本部から同人誌　五行歌の二月号と三月号が届きました。四月二十四日（木）の歌会にはお届け致します。同人誌五行歌は看護師養成学校の一階の応接室の書棚に保管されます。貸し出しもできます。

良い五行歌の作り方について考えておられる方は、五行歌の同人の作品の中からヒントが得られるかも知れません。またえんた主宰の世界を股にかけた活躍が伺えます。

投票結果は次の通りで、一応ネット五行歌会は形になりました。

作品一（えんた作品）　評価総点は三点。たしかに全知全能の神は何もすることがなく退屈かも。極楽も退屈？実際、草壁主宰は世界中を飛び回って実にお忙しい事が同人誌の五行歌日誌から伺えます。（二点。今津）。（何かをしないではいられないのは）人間の本能かも（一点。吉見）。

作品二（井椎作品）　評価総点は六点。鋭いと思う（三点。吉見）。中国は世界で一番の国になろうしている。しかし、人口が多過ぎて消費も多い。しかも西洋文明のコピーをしなければならないのは気の毒だ。人々は実際のところ知識を身につけるというより、生殖に励み子孫を残すことに懸命だった。繁栄は永続きしないように思われる（一点。ピンポン。（五行歌の感想ではなく、中国の国に対する感想と思われるが、一応原文翻訳を掲載しました。）コメントなし（二点。えんた）。作者創作動機は、「中国貧村で必死に勉強することもたちを見ました。その真剣なまなざしに感動しました」

作品三（今津作品）　評価総点は六点。タイの子供のエイズ問題をテーマにしているのだろうか。怖くて毒々しいが、惹きつけられずにいられない作品（三点。井椎）。暗くて生々しくて…（一点。吉見）。コメントなし（二点。えんた）。作者創作動機は、「少女がエイズにかかり幼くして生を終える現実を知って人の業の惨さを感じていたところ、偶然に幹から赤黒い花を付けた木を見つけたのでイメージをダブらせてみました」

作品四（吉見作品）　評価総点は五点。確信は、現在では、世界の村の現実を知ることから得られるのですね。良い作品をありがとう。（三点。ピンポン）その通りですね（一点。井椎）。

作品五（ピンポン作品）　評価総点は五点。ドキュメンタリーなタッチの五行歌で新しい感覚。「二つの目と四本の足がゆっくりと進む」はスフィンクスの謎の故事を想起させられた（三点。今津）。コメントなし（二点。えんた）。

作品六（高田作品）　評価総点は五点。大気の表現に地球温暖化に関する警告を呼び起こさせられるものを感じた。日本そして世界の環境を救う呼びかけになっていて有難う。（二点。ピンポン）。現実の厳しさからの逃避（一点。吉見）。タイと日本をつなげた郷愁がやさしく心に響きました（一点。井椎）。メルヘンは作品。「日本まで…」は、「故国まで…」とするともっと異郷の郷愁が感じられて、世界的な五行歌になるのでは（一点今津）。

＊なお作品集で（番外）とあるのは、トットさんの作品です。

締め切りに遅れて届きましたので、紹介するに留めますが、毎度美しい作品です。締め切りに間に合っていたらきっと高得点を獲得したでしょう。

●ご意見・お知らせなど

①SKYPEを使って、ネット歌会できないですかねぇ…。私は使ったことがないんでよくわからないですが。（井椎）

②タイ語の五行歌を始め、看護師養成学校の教養科目として五行歌を加えたい。看護師養成学校では、英国人レイさんによるボランティアベースの英語教育がまもなく始まります。心理学を応用した特別なカリキュラムで文法的な従来の英語指導とは異なるユニークなシステムです。できたら日本人にもボランティアで日本語教育に加わってもらいたい。詳しくは、ホームページwww.popcare.com を見て下さい。またメール連絡は、mr.smiler@hotmail.com まで（ピンポン）。

●次回のお知らせ

四月の歌会（四月二十四日（木）午後一時三十分より。看護師養成学校。参加費一〇〇バーツ）では、歌会終了後に、チェンマイ五行歌会の今後のことについても話し合いたいと思います。会員皆様には、それぞれチェンマイ五行歌会についてのお考えを伺いたいと思いますので宜しくお願い致します。